

When Silence Becomes Light

光とつながり、透明のとき

11.6 |木|
点灯式 17:45～

12.25 |木|

今回フォトアクリルという素材を用いてオーナメントを制作し、「透明感とは何か」という問いを視覚的に表現する展示をオーナメントとして行いました。そこに映るのはただ物理的な透明の美しさではなく、幾重にも重なる記憶や、静けさ、内面の揺らぎが内包し心に映し出される感情です。それがあなたの”透明な感情”の輪郭であるという証に繋がる一歩だと、願いを込めながら。



国分真央 Mao Kokubu

1990年 東京都生まれ。映像制作会社や写真事務所を経て独立。2020年に東京都から山梨県に移住する。広告写真・CDジャケットでの作品提供など幅広いジャンルで活躍の中、日常の豊かな美しさや静謐な瞬間を撮影し、光の調和を得意とした作風を作り上げる。近年は執筆活動や観光事業撮影、写真講師なども行っている。

施工
制作協力

株式会社花門フラワーゲート
有限会社三幸(TOKYO ACRYL)、
株式会社フラットラボ



公式Webサイト